

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岐阜県高山市立西小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒506-0007

岐阜県高山市総和町2丁目18番地1

E-mail nishi@edu.city.takayama.gifu.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 97 名 女子 82 名 合計 179 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

学校経営構想の中に、次のように位置付けている。

「地域に貢献する 郷土愛づくり」

★郷土を愛し誇りに思う子、郷土に生きる人々から自分の生き方について考える子、地域の課題について自ら考え行動し、地域に貢献しようとする子を育てます

- ・郷土学習を充実し、郷土のよさを知り、郷土を愛する心を育む。
- ・持続可能な社会の実現をめざし、郷土に貢献しようとする子を育てる。

具体的には、各学年の重点目標を次のように定めている。

① 1 年生：【高山の自然とふれ合おう】

- ・校区の自然に親しみ、郷土を大切にすることの大切さを育てる。

② 2 年生：【地域を好きになろう】

- ・校区を探検し、校区の様子を知り、地域を大切にすることの大切さを育てる。
- ・校区のすばらしさや自慢を見つける。

③ 3 年生：【高山のすてきを見つけよう～人気のひみつは何かな】

- ・町探検を通して高山の歴史や文化、産業を知る。
- ・町探検で様々な人とふれあい、誰もが町を大切にしていることを知る。

④ 4年生：【高山の住みやすい街づくりのひみつを探そう】

- ・高山を福祉の観点から見つめ、様々な取り組みや工夫があることを知る。

⑤ 5年生：【高山の自然と文化の博士になろう】

- ・セカンドスクールでの体験を通して、飛騨高山の自然の美しさを知り、環境に対する意識を高める。

- ・ガイドブック作りへの意識を高める。

⑥ 6年生：【高山のよさを多くの人に広めよう～ガイドブックを作ろう】

- ・ガイドブック作りを通して、高山市の歴史や文化を再発見し、内外に発信する。

- ・ガイドブック作りを通して、飛騨に生きる地域社会人としての意識を高める。



① 1年生 自然の中で木の実拾いの様子



② 2年生 町探検の様子



③ 3年生 町探検の様子



④ 4年生 福祉交流の様子



⑤ 5年生 五色ヶ原散策の様子



⑥ 6年生 完成したガイドブック配布の様子

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

主にインターネットを利用して調べ学習を行ったり、各自のテーマに沿った取材先に行き、直接話を聞いたりした。

- ・ 高山市のホームページ
- ・ 高山市の観光案内
- ・ 観光施設のパンフレット 等

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

小学校 1・2 年生は生活科に、小学校 3 年生から 6 年生は総合的な学習の時間の指導計画に位置付け、社会科の学習や行事と連携させながら、郷土教育を推進している。

前年度の様子を参考にしながら毎年実践しているが、その年度の実情に合わせて、指導時期や指導内容を改善している。特に年度末には、企画委員会で、次年度の教育課程はどうあるべきかを検討している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

各学年の取り組みを学年だけで企画・運営をするのではなく、企画委員会のメンバーである校長、教頭、教務主任が関わって、検証をするようにしている。例えば、調査活動をする際には、企画委員が同行し、児童の安全確保をすると同時に、活動内容の適性の有無を検証し、より良い活動になるように組織的に考えている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

郷土学習の最終形として、6年生のガイドブック作りを実施している。完成したガイドブックを多くの人に見てもらえるように、100か所位の事業所や個人に配布している。配布した外部の方々から内容について評価をもらっている。概ね好評ではあるが、工夫・改善をする評価を頂き、学習内容も含めて改善している。また、学校評議員や保護者からもご意見を頂いて改善に努めている。毎年のことではあるが、児童の設定するテーマに応じて、調査方法や場所を年度ごとに考えていく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

上の学年が次の学年に、学習した内容を発表したり、保護者の前で発表したりしている。また、学級通信や学校だよりで校内や地域に発信している。

内容は、生活科や総合的な学習の時間で学習した郷土に関わる事だけでなく、他の教科や行事、PTAの行事なども併せて学んだことである。

これらのことから、次の学年で学習する内容の一部を知ることができた。児童は、郷土の良さを再確認し、郷土に貢献していこうとする意欲を培うことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

西地区まちづくり協議会やPTA、町内会等と連携をして、地域の方々に講師をお願いしている。

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された秋の高山祭が、校区内で行われる。子どもたちが祭り文化に携わる関係で、神社、屋台組、獅子舞等の他団体とのつながりがある。学校としてもそれらの団体と連携を取りながら進めている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

国内外とのユネスコスクールとの交流は行っていない。教頭会の際に、ユネスコスクールの活動について意見交流をすることがあった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

来年度も、10年近く継続している郷土教育を推進していく。地域の方々の協力を得ながら、見学・体験・調査等をしながら郷土の良さを知り、郷土を担う人材の育成を図っていく。この実践を通して、郷土を持続可能な社会へ導く考える。

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も、郷土教育を推進していく。

一層、他団体や地域の方と連携を密にして、郷土の題材を使って調査・見学・体験などの学習を通して、郷土の良さを知り、郷土を担う人材の育成を図っていく。この実践が、郷土を持続可能な社会へ導くと考えている。